

(活動報告書様式)

助成事業実施団体名	特定非営利活動法人環境ネットやまがた		
実施事業名	山形の未来の環境保全を担う子どもたちを育てる「環境教育プログラム」開発・実証事業		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 協働助成事業（一般型）【県政課題名：】 協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ名：】 団体支援助成事業		
団体の所在市町村名	山形市	事業費及び助成額	事業費 514,864円 助成額 500,000円

**【事業目的】**

子どもたちが、省エネなどの環境課題について学習し、家庭などの身近なところからできることを自ら考え、実践できるような環境学習プログラムの開発とその展開を図りました。

また、環境教育を実践している団体等の情報交換等を行い、環境教育の環を広く県内に広げることを目的として実施しました。

**【事業内容】**

・環境教育プログラムの作成・実証

小学生を対象とした地球温暖化防止を体験し学ぶことができるプログラムを作成しました。プログラムは、環境問題とその対策について考えるきっかけをつくるとともに、学んだことを家庭でも共有できるものとなりました。作成したプログラムは、学童保育等の場で実証を行い、その結果を踏まえプログラムを改良・完成させました。

作成したプログラム（5種類）

- ①「牛乳パックから紙をつくろう」（森林保全、リサイクル）
- ②「いらなくなったローソクからキャンドルを作ろう」（キャンドルナイトで地球温暖化を考える）
- ③「環境にやさしいエネルギーを知ろう」（再生可能エネルギー）
- ④「発見！家の中の電気くい虫をさがそう」（省エネルギー）
- ⑤「私たちの食べ物はどこからくるの」（フードマイレージ）



「牛乳パックから紙をつくろう」実証の様子



「いらなくなったローソクからキャンドルを作ろう」実証の様子



シンポジウムの様子



・シンポジウムの開催とネットワークづくり

県内外で環境教育を実践している団体を集め、県内外の事例紹介を兼ねたシンポジウムを開催しました。また、その中でお互いの活動の情報交換等も行い、ネットワークの構築を目指しました。

**【事業の成果及び今後の展望】**

講座（プログラムの実証）に参加した子ども達に環境について考える機会を与えることができました。また、シンポジウムを開催し、県内外の環境教育実践団体と課題の共有をすることで、今後もお互いに連携しながら継続的な活動を行うためのネットワークができました。

「環境教育」については今年を1年目として、次年度はプログラムを活用した講座ができる講師の育成等、今後も継続的に実施していきたいと考えています。また、この事業で得た他団体・教育機関等とのネットワークを活かし、事業終了後も学校や学童保育の場等を活用し、講座の開催を行いたいと考えています。